

三十年には給水人口四倍に

豊栄町水道の給水人口は、給水開始時九百六十三人、普及率はわずか三三パーセントでしたが、年々増加し、昭和三十年には約四倍に達した。その状況は次の通りである。

Table with 2 columns: Year (昭和三十二年, 昭和三十年, 昭和三十八年, 昭和三十六年, 昭和三十四年, 昭和三十二年) and Population (963, 3963, 1763, 2126, 3345, 3800).

二十九年拡張改善に着手

昭和二十六年には全面的な拡張計画を立て、十月一日町議会を以て議決された。その計画は次のとおりである。

- 給水区域 豊栄町全域
前新田、新井、新田、新田、新田
計画給水人口 一万七千人
事業費 二千九百万円
工事の時期 昭和三十二年、三十二年、三十二年

県内の大先輩 町の上水道

取水口が多くなるにつれ、鉄分が急速に増加した。その鉄分は水中に溶解しているため、このような浄水装置では除去できない。ところが、ここには珍しい現象を呈していた。水中にバクテリアが繁殖し、鉄分を摂取して繁殖するのです。一見清浄な形での通過へ注がれると、間もなく...



豊栄高校の一期工事完工

豊栄高等学校の新しい校舎が、第一期工事のほぼ完了した。第二期工事から新校舎で授業が行われることになり、第二期工事から新しい校舎で授業が行われますが、教員が不足のため、定時制課程が不足する見込みです。

救急業務は昨一月から七月二十六日までの間の十月、消防救急業務出動件数は、二十八署で開始された。月平均四件ほどになっています。

古い農具や民具を収集 町文化財調査会(委員長吉田光一)では、使用価値を失って捨てられようとしている古い生活用具や民具、農具などの収集調査をすすめています。

文化財調査会で計画 町文化財調査会(委員長吉田光一)では、使用価値を失って捨てられようとしている古い生活用具や民具、農具などの収集調査をすすめています。

十七日から 豊栄町中学校球技大会が八月十七日、十八日の二日間、豊栄中学校体育館で開催されます。

検察審査会とは 窃盗、詐欺、暴行、その他交通罪など、いろいろの犯罪によって害を受けた人が、告訴や告発をしたが、検察官がその事件を裁断し、起訴するかしないかを判断する。検察審査会へ申し出て下さい。

救急車の利用について 救急業務は昨一月から七月二十六日までの間の十月、消防救急業務出動件数は、二十八署で開始された。

冷時、露天のろ過砂を搬送する作業は、つらいものでした。終戦後の特殊な問題は、水質悪化のほか、インフレの進行に伴う使用料の値上げがありました。その状況は次の通りです。

阿賀の水源地は承認されず この阿賀町長は、戦時中の水質平準化から、昭和二十二年はじめて公選の八田健吉に引き継がれ、配水管に多額を要するため採算が合わないとして承認しませんでした。

救急車の利用について 救急業務は昨一月から七月二十六日までの間の十月、消防救急業務出動件数は、二十八署で開始された。

古い農具や民具を収集 町文化財調査会(委員長吉田光一)では、使用価値を失って捨てられようとしている古い生活用具や民具、農具などの収集調査をすすめています。

文化財調査会で計画 町文化財調査会(委員長吉田光一)では、使用価値を失って捨てられようとしている古い生活用具や民具、農具などの収集調査をすすめています。

十七日から 豊栄町中学校球技大会が八月十七日、十八日の二日間、豊栄中学校体育館で開催されます。

検察審査会とは 窃盗、詐欺、暴行、その他交通罪など、いろいろの犯罪によって害を受けた人が、告訴や告発をしたが、検察官がその事件を裁断し、起訴するかしないかを判断する。

救急車の利用について 救急業務は昨一月から七月二十六日までの間の十月、消防救急業務出動件数は、二十八署で開始された。

古い農具や民具を収集 町文化財調査会(委員長吉田光一)では、使用価値を失って捨てられようとしている古い生活用具や民具、農具などの収集調査をすすめています。